情報通信審議会イノベーション創出委員会

課題

研究開発が イノベーション創出に 貢献していない

Mission-使命

イノベーションを創出し

元気を創る!

- Vision 一目標 1. 我が国が強みを発揮すべき技術分野の特定
- ┃Ⅱ.研究開発成果をイノベーションに繋げる手法の確立
- Ⅲ. 具体的なプロジェクトを通じた社会実装

取組の 方向性

◆イノベーション創出の仕組み構築

- ◇事業化に繋がる研究開発スキーム ◇事業化を実現する人材の育成
- ◆重点プロジェクトの推進

破壊的イノベーションを起こし、フロントランナーとして新産業を創出する

Point ポイント 1: 技術

- 新サービスに挑戦する人材の発掘・育成
- ビジネスモデル検討の促進
- 知財や広報専門家による支援体制
- 自前主義からの脱却、オープンイノベーション

リスクマネーの活性化誘導

Point ポイント 2: 制度

- 飛び抜けて優れた研究開発環境の 整備、開放
- 新サービスへの挑戦が容易となる 規制緩和(オープンデータ等)

Point ポイント 3: ファイナンス

- 多様な種類、期間に対応するリスクマネーの 活性化
- コンセプト検証への支援(常時応募可能)
- 大企業とベンチャー等をつなぐエコシステム

税制支援、規制緩和等

Point ポイント 4: 文化

- 「変わったことを考える人材」のエンカレッジ
- 新たな価値の創造はたくさんの失敗の上に 成り立つことのコンセンサスと失敗の教訓化

イノベーション創出に向けた仕組み

産業化フェーズ 究 ズ 業化・ 研 開 発 フ I 死の谷 発見•科学的知見 実現可能性 実用性検証 コンセプト実証 製品化 製品展開(国内•国外) 常時応募可能な「ビジネスモデル実証フェーズ」 「独創的な人向けチャレンジ枠」 ベンチャーキャピタル等による評価、失敗の分析 プロトタイプ作成、コンセプト検証等 パイロットプ オープンイノベーション 知財・広報専門家等からの支援 (ベンチャーの活用など)の取組 रम ションを創出 新事業・新産分野の研究開発 ープロジェク・ノベーション 公募型研究開発 (新設) 「起業家・キャピタリスト iii ベンチャ トレーニングプログラム」 -ブアウト ション (米国での研修) ・新産業の 設定型研究開発(国家プロジェクト化)〉大企業 創 元気を創る -(次頁) 創出出 八八適用な仕組みを 知財データベース の活用 事業化責任者の明確化 公募により将来ニーズを取り込んだ目標設定・評価

飛び抜けて優れた研究開発環境の整備と開放

パイロットプロジェクト例

「高齢者が明るく元気に生活できる社会 実現のためのパイロットプロジェクト」

「スマートプラチナ社会」の実現 【ICT超高齢社会構想会議と連携】





パイロットプロジェクトを 支える共通的な環境



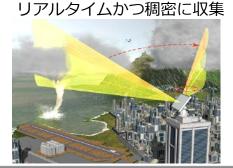
極めて高速かつ 極めて柔軟な 低廉な ビッグデータ・オープンデータ ネットワーク の分析・利用環境

パイロットプロジェクト」 「ICTを活用した社会インフラの

災害のない社会実現のための

ICTを活用した社会インフラの 効率的な維持管理」の実現 【ICT生活資源対策会議と連携】





多様な気象情報を

「交通事故も渋滞もない社会 実現のためのパイロットプロジェクト」





